



ANNUAL REPORT 2018

— 世界はひとつの食堂だ、と考える —

Contents

1. TABLE FOR TWOについて
2. 様々な食の場面におけるご参加事例
3. 世界食料デーキャンペーン「おにぎりアクション」
4. スポーツでの取り組み
5. その他のご参加事例
6. 海外でのTABLE FOR TWO
7. 支援先での取り組み
8. 団体概要

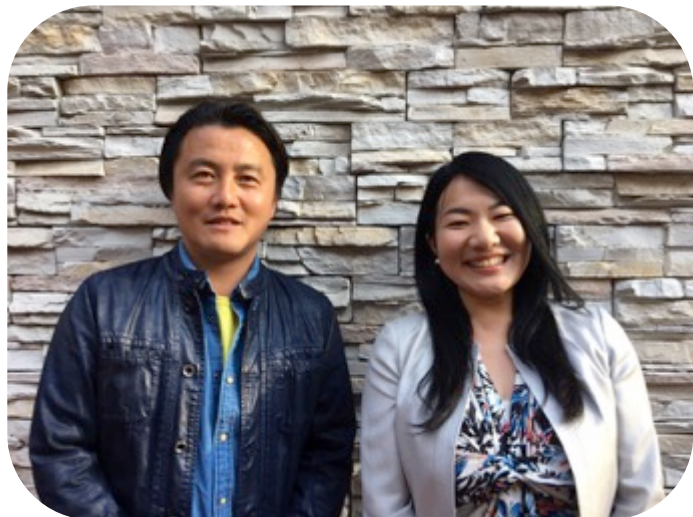


TABLE FOR TWO International

代表理事 小暮 真久 安東 迪子

いつもTABLE FOR TWOの活動にご支援、お力添えをいただき、誠にありがとうございます。2007年の創設当初は5社のご賛同企業とともにスタートしたTFTが、多くの皆様に支えられ10年あまりで約800の企業・団体に賛同いただき、のべ9,000万人の皆様にご参加をいただく社会事業となりました。これまでTFTの活動に賛同、参加してくださった皆様には、感謝の気持ちでいっぱいです。

開発途上国に届けた学校給食は累計で6,478万食、設置した菜園の数は237つとなりました。支援先の1つ、ルワンダバンダ村では、2018年に村で始めて大学に進学した生徒が出ました。「給食のお陰で学校に通い続けることができた。支援を続けてくれた皆さんには本当に感謝しています」と、将来の夢を語る彼の目は、希望に満ち触れていました。私たち1人1人のアクションが、海の向こうの子どもたち1人1人の未来に、確実につながっています。

TFTでは「日常生活の中で気軽に、楽しく参加できる」社会貢献プログラム作りをこだわって活動を広げてきました。企業や学校の食堂から始まったTFTのプログラムは、小売り食品やスポーツジム、SNS上のキャンペーンに、そして海外での食育レッスンなど、様々な形で広がっています。事業の拡大に伴い組織の規模も大きくなり、ガバナンス体制を強化する必要が出てまいりましたため、2018年より新たな理事を迎え、代表も2名体制にいたしました。新体制のもと、今まで以上に参加企業やサポーターの皆様とのパートナーシップを強化し、事業を加速させてまいります。これからもお力添えの程、何卒よろしく願いいたします。



TABLE FOR TWOについて

世界では、約10億人が飢餓で苦しむ一方で、20億人近くが肥満・生活習慣病に苦しんでいます。

TABLE FOR TWO (TFT) は、このような食の不均衡を解消し、開発途上国と先進国双方の人々の健康を同時に改善することを目指す日本発の社会事業です。

TFTプログラムでは、肥満や生活習慣病予防のために食事のカロリーを抑えていただき、そのカロリー分を栄養豊富な給食にして開発途上国の子どもたちに届けます。先進国の参加者と、地球の裏側にいる開発途上国の子どもたちが、時間と空間を超えて食卓を囲み、食事を分かち合うイメージから「TABLE FOR TWO (二人の食卓)」という名をつけました。

TFTの仕組みを国内外に広げることで、世界の飢餓・栄養失調と肥満・生活習慣病の解消に貢献します。

同時に、人々がTFTのメニューや商品を選択することで、世界の食の不均衡の実情を知り、地球市民として行動するきっかけを提供します。

TABLE FOR TWO が提唱する食の不均衡を解決する仕組み

TFTは肥満と飢餓という、世界が抱える食の課題の解消を目指しています。先進国の参加者に、健康的な食生活を推奨しつつ、開発途上国の子どもたちに学校給食を支援する、という一石二鳥のシンプルなプログラムを推進しています。



TABLE FOR TWOの特長

1. 健康増進と給食支援が同時にできる

先進国の私たちと開発途上国の子どもたち、双方が同時に健康になれる仕組みです。支援する側とされる側の双方にメリットがあります。

2. 誰でも参加できる

参加方法は、対象となるメニューを選ぶだけ、商品を買うだけ。誰でも気軽にご参加いただけます。

3. いつでも、どこでも参加できる

あらゆる食事の場面で、いつでも、どこでも、ご参加いただけます。毎日の食事を通じ、開発途上国の子どもたちと一緒に健康になってください。

TABLE FOR TWO 11年間の歩み

2007年に生まれたTFTの11年間の歩みをまとめました。

2018年

おにぎりアクションが、オンラインでの参加から、全国各地の店頭イベントでの参加にも広がりを見せた年。個人寄付プログラムのマンスリーサポーターも増加。日本での広がりを受け、支援プログラム拡大。

2016年

おにぎりアクションをきっかけに、食品・飲料メーカー、小売での展開が加速。クレジット決済の個人寄付プログラムもスタートし、個人向けプログラムが充実化した1年。

2011年

社員食堂・レストランがメインだったTFTの舞台が家庭に拡大。社食の人気TFTメニューを集めたレシピ本や、寄付つき絵本などを出版。

2008年

企業の社員食堂にて、TFTプログラムが本格スタート。

2007年

TABLE FOR TWO International 東京にて設立。

寄付食数
5,000万食突破

寄付食数
3,000万食突破

寄付食数
1,000万食突破

2017年

創立10周年。おにぎりアクションが、『マーケティング3.0アワード』大賞を受賞し、海外でも評価される。ドイツ法人設立、アメリカでの食育プログラムの開始など、海外展開も加速。

2015年

個人が気軽に参加できる「おにぎりアクション」をグローバルで実施。ミラノ万博の展示でTFTが紹介される。

2014年

カロリーオフセットプログラムが開始。新しい寄付の仕組みによって、TFTは食事だけでなくスポーツ分野にも展開。

2013年

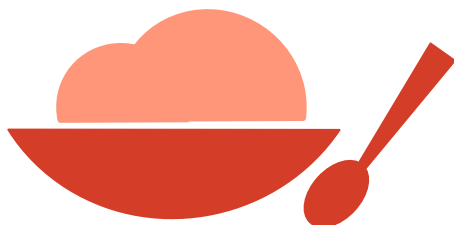
TFT初となる、アジアの学校給食支援プロジェクトがスタート。米国や香港など海外での活動も本格化し、グローバル展開が大きく前進した1年。

1 数字で見る TABLE FOR TWO

皆さまのお力添えにより、2007年の創設以降6,478万食の給食を開発途上国に届けることができました。

累計支援給食数

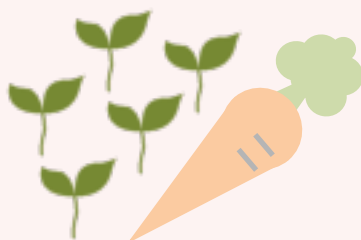
6,478万食



ご寄付額を1食20円で換算

累計支援菜園数

237ヶ所



実際に設置した菜園数

累計支援生徒数

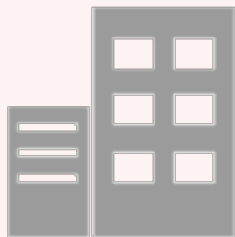
のべ28万人



毎年の支援生徒数を合計

導入団体数

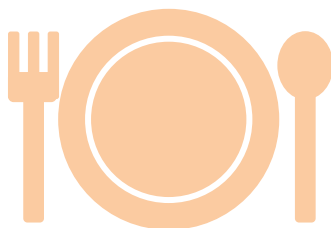
800団体



日本国内、海外も含む

累計参加人数

のべ9,000万人



おにぎりアクション、カロリー
オフセット参加人数も含む

海外展開数

14カ国



TFTプログラムを
導入した国数

1 TABLE FOR TWO SDGs への貢献

TFTは、先進国では健康に配慮したメニューを推進し、開発途上国では子どもたちに学校給食を届けることを通じて、SDGsの7つのゴール達成に貢献しています。



– SDGsとは –
Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略。
2015年に国連にて全会一致で採択された2030年までに達成を目指す17の目標。



子どもたちは給食がきっかけとなり教育を受け、貧困から脱するための知識をつけることができます。併せて、地元農家から食材を購入したり、農業の技術指導を行うことで、貧困の解消に貢献しています。



2007年に日本でTABLE FOR TWOが創設されてから11年の間に、累計6,800万食（のべ26万人分）の学校給食をアフリカ・アジアの子どもたちに届け、飢餓の解消に努めています。



先進国の社員食堂や飲食店、スーパー等で健康に配慮したメニューを提供しています。同時に、メニュー代金のうち20円を寄付として頂戴し、開発途上国で栄養豊富な温かい学校給食を提供しています。



開発途上国では、学校給食の提供が子どもたちの教育機会に直結しています。学校給食が始まると、就学率・出席率が飛躍的に向上します。50-60%程度から100%近くに上昇するケースがほとんどです。



先進国の余剰カロリーを寄付として開発途上国の摂取カロリーに変換する仕組みは、不平等をなくすことにも繋がっています。



給食の調理に薪を使う代わりに、おがくずなどのゴミを再利用して作った固形燃料を使用し、森林の伐採を防いでいます。農業支援では、自生種や固有種の栽培を推奨しています。



先進国では約800の企業・団体と、開発途上国では10団体とパートナーシップを組み、活動を推進しています。

ルワンダでは、6年間TFTの給食支援を受けた学校から、村初となる大学進学者がいました。



A close-up photograph of a young child with dark skin and hair, smiling broadly while eating from a large blue plastic bowl. The bowl is filled with a mixture of yellow corn kernels and dark beans. The child's hand is visible, holding a metal spoon. In the background, another child is partially visible, also eating. The scene is set outdoors on a sandy surface.

2

様々な食の場面におけるご参加事例

TFTは、肥満と飢餓という、現在の世界が抱える食の課題の解消を目指し、ヘルシーメニューを推奨しながら開発途上国の学校給食を支援する、という一石二鳥のシンプルなプログラムを推進しています。2007年に日本で始まったこの活動は、日本を含む世界14か国へ広がり、これまでに日本国内外で約800の企業・団体にご参加いただいています。企業の社員食堂から自動販売機、街中のスーパーやレストランなど、あらゆる食事のシーンで、また、食にまつわる商品・サービスで、TFTに参加いただくことができます。

T 社員食堂で TABLE FOR TWO

社員食堂では、TFTメニュー・ガイドラインに沿ったヘルシーメニューが提供されています。

定食に加えて、サラダや麺・丼もの、小鉢・デザート、お弁当まで、アイデア次第で様々なメニューが考案されています。

TFTメニュー・ガイドライン

1. 一食あたりのカロリーが、通常よりやや低く抑えられている*

- ・デスクワークが主な職場：680～800kcal
- ・工場や軽作業を伴う職場：720～870kcal

2. 栄養のバランスがとれている

3. 野菜を多く含む

*厚生労働省の定める「日本人の食事摂取基準(2010年度)」を参照。一日の運動量により幅があります。



定食メニュー：ポーラ
(協力会社：グリーンハウス)

皮なしチキンソテー、チアシード入り豆乳きのこキッシュ、紫キャベツのアーモンド和えなど、美容と健康に嬉しい素材を使った美肌定食を毎週提供しています。



定食メニュー：サンゲツ

アフリカの子どもたちが食べている給食をコンセプトにした「ピラウとポショの盛り合わせ」。TFT導入1周年で1万食を突破した記念に、支援先をもっと知りたいということで提供しました。



サラダメニュー：東京エレクトロン

ボウル一杯に好きなだけサラダを盛ることができるサラダバー。野菜・ドレッシングの種類が豊富だけでなく、ボリュームも満点で、男性社員にも人気です。



麺・丼もののメニュー：東洋製罐グループ

野菜をたっぷり使った「貝沢山！！サンラー七穀うどん」。雑穀うどんを使用したことで、食物繊維の摂取量をさらに増やすことができます。



お弁当メニュー：メディヴァ

低カロリーな切干大根やしらたきを使ってボリュームアップし、素材の力(桜えびのうまみやポン酢の酸味)で減塩効果を考えたお弁当です。

T ドリンクで CUP FOR TWO

ヘルシードリンクの売り上げの一部が、子どもたちの給食に生まれ変わります。
社内に設置されている自動販売機やカフェ・売店の飲料で、1商品～気軽に導入いただくことができます。

CUP FOR TWO・ガイドライン

1. 糖分ゼロのドリンク
2. カロリーゼロ、または、通常商品より最低でも30%以上カロリーカットの工夫がされたドリンク
3. 野菜・果汁100%のドリンク
4. スポーツドリンク
5. メーカーによる健康機能表示を持つドリンク
6. 日本人に不足しがちな栄養素を補うような素材を含むドリンク
(※1)

※1 野菜や食物繊維/カルシウム/鉄分/カリウム/EPA、DHAなどを含む食品が、積極的に食べられるメニュー

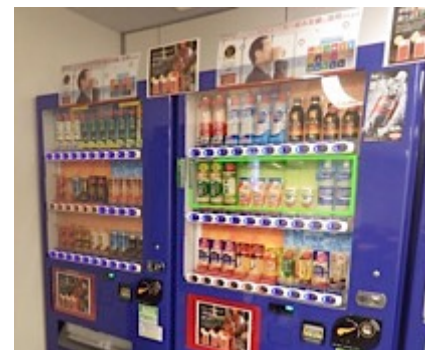
対象商品を限定して

既存の商品の入れ替えをすることなく、ガイドラインに沿った商品のみを対象として販売することができます。



全ての商品を対象に

より多くの寄付をしたい、会社の取り組みをより従業員にPRしたい、といったご意向のある企業では、全ての商品を対象にするケースがあります。



TFT対象自動販売機 設置企業
165企業

TFT対象自動販売機台数
1,068台

(※2018年末現在)

TFT対象自動販売機 導入実績のあるベンダーリスト

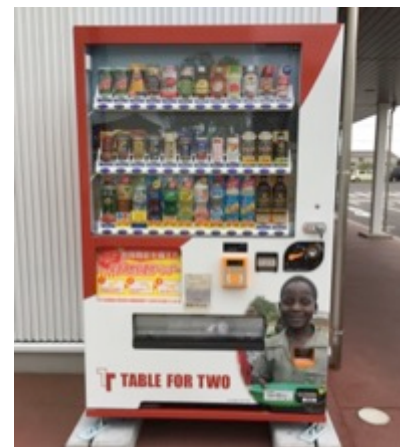
FVジャパン	関西コーヒー	NOCアウトソーシング&コンサルティング
エースター	アサヒ飲料販売	コーシン・サントリービバレッジ
タケショウ	イオンディライト	コカ・コーラボトラーズジャパンベンディング
ネオス	麒麟ビバレッジ	コカ・コーラボトラーズジャパン
LEOC	ダイドードリンコ	サントリービバレッジサービス
スマイル	トーヨーベンディング	ジャパン福岡・ペプシコーラ販売会社
ムラタ栄興	ナショナル・ベンディング	ジャパンビバレッジイースト
ユカ	NECライベックス	ジャパンビバレッジウエスト
伊藤園	アベックス西日本	ジャパンビバレッジホールディングス
八洋	ジャパンビバレッジ東京	日産クリエイティブサービス
三國フーズ	ユニマットキャラバン	西洋フード・コンパスグループ
西武商事	大和オフィスサービス	

日本ガイシ：自動販売機の一部商品が対象。TFTロゴの入ったシールで対象商品を囲って周知



三菱地所：カフェで販売しているスムージーが対象。美味しさとヘルシーさが人気で、リピーターも多い。

大和証券グループ/大和オフィスサービス：「SDGsへの取り組み支援に活用」されることを大きく掲示



ソニー：自動販売機全体を、アフリカの子どもの写真でラッピング

レストランで TABLE FOR TWO

全国各地で、レストランでTFTメニューが提供されています。1メニューから気軽に導入いただくことができます。

レストラン向け・ガイドライン

食事メニュー (以下のいずれかを満たすもの)

1. ヘルシー素材やカロリーダウンの工夫を含んでいる。
2. 食料問題の改善に結び付くような素材や工夫を含んでいる。
3. 日本人に不足しがちな栄養素を補うような素材や工夫を含んでいる。

*定食メニュー：680～800kcal

ドリンクメニュー

- 糖分ゼロのドリンク
- 野菜・果汁100%のドリンク
- スポーツドリンク
- メーカーによる健康機能表示を持つドリンク

など



J.フロントフーズ

全国30店舗で、通年でTFT対象メニューを提供しています。TFT大学連合（P23参照）の学生と共同で開発したメニューも販売しています。



ブルーポイント

サラダ、フムス、グルテンフリーのパスタ、スープ、魚など、ガイドラインに沿ったメニューを多数、TFT対象メニューとして提供しています。



SPOON

系列の4店舗のグランドメニューを対象メニューとして提供しています。TFTを通じたSDGsへの貢献についてもお客さんに周知しています。



GO GREEN

ボウルサラダ専門店。目の前で新鮮なサラダをつくってもらえるスタイルで、全てのメニューがTFT対象メニューとして提供されています。

商品で TABLE FOR TWO

スーパーなどの小売店で、カフェやイベントで、果樹園で、TFT対象商品が販売されています。
お惣菜からドリンク、おやつ、果物まで、ジャンルも様々に広がっています。

ヘルシー食品ガイドライン

ヘルシー食品 (以下のいずれかを満たすもの)

1. ヘルシー素材やカロリーダウンの工夫を含んでいる。
2. 食料問題の改善に結び付くような素材や工夫を含んでいる。
3. 日本人に不足しがちな栄養素を補うような素材や工夫を含んでいる。

ドリンクメニュー

- 糖分ゼロのドリンク
- 野菜・果汁100%のドリンク
- スポーツドリンク
- メーカーによる健康機能表示を持つドリンク

など



ドリンク：O i s i x

野菜や果物を使ったドリンク5種の他、納豆や魚、米など、健康に配慮した様々なジャンルのTFT対象商品がO i s i xで販売されています。



おやつ：GNSと東の食の会 共同開発

福島県産りんごを100%使用したセミドライフルーツ。小腹がすいたときにヘルシーに食べられるおやつとして、企業の食堂やカフェで提供されています。(1個あたり6円寄付)



本商品は、カロリーオフセットプログラム（菜園）への支援です。



お惣菜・お弁当：西友

西友では、6種類の煮物セットやお弁当を定番とし、お惣菜やおにぎりなど、季節ごとにTFT対象商品を入れ替えて販売しています。



果物：石原果樹園

石原果樹園で採れたフルーツの発送1件につき10円が寄付され、さらに、果物狩りに参加しても、入園料から10円が寄付されます。

T 食にまつわる商品・サービス・イベントで TABLE FOR TWO

食にまつわる商品・サービスやイベントでも、ご参加いただくことができます。



農園で収穫した野菜でTFT：タカラレーベン

タカラレーベンでは、ダイバーシティ推進の一環として採用した従業員が作った野菜を、自社の従業員に配布し、一袋につき20円の寄付を呼びかける取り組みを実施しています。エスプールプラスが提供する、企業の雇用の問題を解決しながら従業員にも喜ばれる本サービスは、年々広がりを見せています。



寄付つきの割り箸販売：郡上割り箸

国産材割り箸を20円で購入するとそのうちの5円が寄付されます。日本人にとって食に深い関わりのある木製品を通して子どもたちに給食を届けることができる商品です。



調理具のチャリティーバザー：吉田金属工業

包丁「GLOBAL」を製造・販売する吉田金属工業にて、売上の一部が寄付になるチャリティーバザーを実施しました。買い物をしながら社会貢献ができ、23,800食分の給食となって支援先の子供達に届けられました。



大切な方への贈り物が寄付に：ai mug

赤ちゃんの足型と生年月日、産まれた時間・場所・身長・体重など誕生した時の記録が刻まれたマグカップ「ai mug」の売上の一部が寄付となります。出産祝いとして、大きくなった本人へのプレゼントとして選ばれています。



3

世界食料デーキャンペーン「おにぎりアクション」

10月16日の世界食料デーに合わせて開催している「おにぎりアクション」は、「日本の食で世界を変える」をコンセプトに、日本の代表的な食べ物「おにぎり」を通じて、アフリカ およびアジアの子どもたちに温かな給食を届けるキャンペーンです。おにぎりにまつわる写真を撮影し、特設サイトに投稿、または、ハッシュタグ「#OnigiriAction」をつけてInstagramやTwitter、FacebookなどのSNSに投稿すると、アフリカ・アジアの子どもたちに学校給食が届きます。基本的には写真1枚あたり給食5食が贈られ、その費用は賛同企業・団体が負担します。20015年から始まったおにぎりアクションは、これまでに累計150万人が参加し、おにぎり写真50万枚で合計300万食の学校給食となりました。

1 おにぎりアクションの仕組みとこれまでの軌跡

世界食料デー記念キャンペーン「おにぎりアクション」は今年で4年目を迎えました。日本の代表的な食べ物「おにぎり」の写真投稿を通じて、アフリカおよびアジアの子どもたちに給食を届ける本キャンペーンは、たくさんの方の共感を得て、年々規模が拡大しています。

仕組み

おにぎりの写真投稿1枚につき、
給食5食（または10食）分が協賛企業から寄付されます。

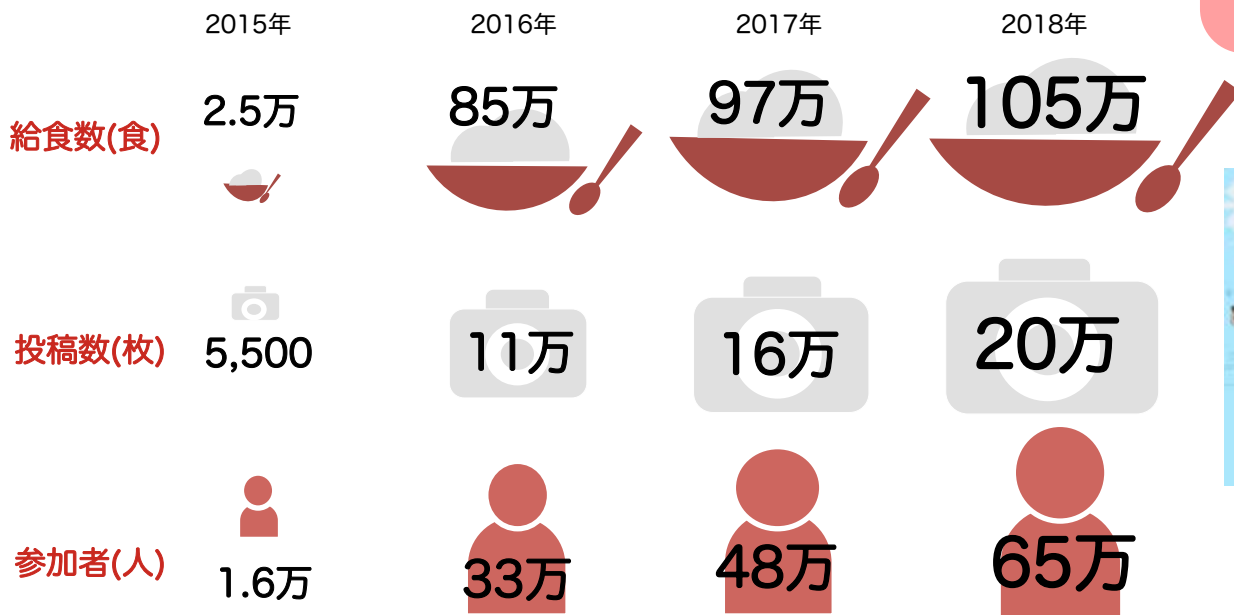


おにぎりアクション2018の結果

1. 写真投稿数 **20万枚**
2. 参加者数 **65万人**
3. 届けられた給食数 **105万食**
4. 投稿があった国数 **51カ国**

(10/10-11/20、計42日間)

軌跡



全投稿が表示された特設サイトの世界地図

「おにぎりアクション2018」開催概要

協賛企業

Official Partners



Corporate Partners



Supporting Partners



※日本から22社の他、米国からも19社の企業・団体に協賛いただきました。

テーマ

おにぎり持って、最高のおでかけしよう！ supported by NISSAN SERENA

全国5カ所のイオンモールで、おにぎりアクション初となるリアルイベントを開催し、3万7千人に会場いただきました。



会場では福井県のブランド米"いちほまれ"おにぎりを配布しました。



おでかけ先でのおにぎり写真に「#OnigiriAction #家族史上最高のおでかけ」をつけて投稿すると、給食10食を日産セレナが協賛する企画を実施しました。



「おにぎりアクション2018」企業コラボ企画

コラボ企画

期間中、協賛企業と様々なコラボ企画を実施しました。以下は一例です。



イオンリテール：
イオンにて対象のおにぎり関連商品を寄付
つきで販売。SNSキャンペーンも実施



FiNC Technologies：
アプリ「FiNC」でエアおにぎりの写真投稿
キャンペーンを実施



味の素冷凍食品：
「おにぎり丸®」でつくったおにぎりの写
真投稿キャンペーンを実施



旭化成ホームプロダクツ：
「サランラップ®に書けるペン」でデコし
たおにぎりのSNSキャンペーンを実施



「写真の町」東川町：
東川町の特産品を使ったおにぎりの写真投稿
キャンペーンを実施



オイシックス・ラ・大地：
ECサイト「O i s i x . c o m」で寄付つき
の米を販売

「おにぎりアクション2018」参加の様子

法人で参加



丸紅：海外支店で現地スタッフと一緒に



waja：好きな具を持ち寄ってみんなでおにぎりづくり



東京エレクトロン：台湾と国内のグループ会社で参加



シチズン時計：シチズンおにぎりを作って参加を呼びかけ

個人で参加



富士山と富士山おにぎり



ファーストバイトおにぎり



ピクニックでお揃いおにぎり



最愛のペットとおにぎり

学校で参加

小学生～大学生まで、学校の授業・イベントでの参加多数





4

スポーツでの取り組み

TFTプログラムは、社食やレストランなど、主に食事をする場面で、健康的な食生活を推進しながら活動の輪を広げてきました。一方で、健康づくりのためには、健康的な食生活に加えて、適度な運動も欠かせません。そこで生まれたのが、「身体を動かしながら自身が健康になって、開発途上国にも支援を届ける」 TFTのスポーツプログラムです。

1 個人が気軽に参加できる取り組み

個人が気軽に参加できるスポーツの取り組みをご紹介します。



T TABLE FOR TWO × b-monster

あなたの不要な脂肪を、
世界の子どもたちの脂肪に。
2018年1月9日～3月31日

★ ISHOKU MAKE プロジェクト
詳しくはこちら

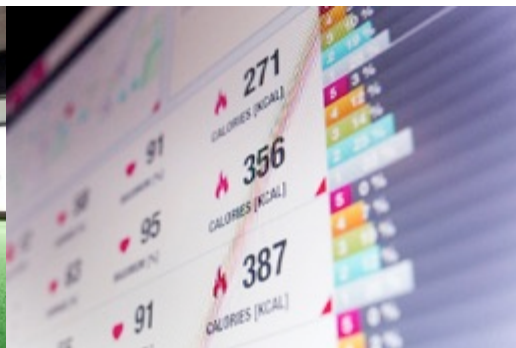
加藤翔さんは
2018年01月09日～03月31日までに
合計 **3,644 kcal** を消費しました。

あなたの消費したカロリーは
10 食分
の給食となって子ども達に届けられます。

※1レッスンの消費カロリーが300kcalを超えることで1食のカウントされます。
期間内の消費カロリーが合計で300kcal以上でも、1レッスンで300kcal以上
消費している分のみのカウントとなります。

暗闇ボクシング「b-monster」：300kcal 消費で1食届く

300kcal 消費ごとに給食1食が届くキャンペーンを実施しました。参加者は心拍計をつけてボクシングをすることで、リアルタイムに消費カロリーを把握し、会員の個人ページにて、累計消費カロリーと届けた食数も確認が可能です。給食を届けることがモチベーションになって、3ヶ月で10kg痩せた方もいました。



体幹トレーニング専用ジム「Taikanz」：+300円で15食届くTFT月会員

通常の月会費に+300円で給食15食が届ける「TFT月会費」を用意しています。自分のために運動を続けることは難しくても、「誰かのために」なら継続できると、会社員を中心に人気です。



本プロジェクトは、カロリーオフセットプログラム（菜園）への支援です。



T TABLE FOR TWO × GDO

ゴルフ菜園プロジェクト
～みんなのパーティで
アフリカに菜園をつくろう～

ありがとうございます！

全員のラウンドでの寄付金
4パーティ=40円

※1ラウンド＝2パーティ、アルパトロス / ホールイン
ワン＝3パーティ換算

ゴルフスコア管理アプリ「GDO」：1パーティで10円届く

アプリ「GDO」でゴルフのスコアを登録すると、1パーティにつき10円が菜園支援に寄付されます。アプリには、個々人のラウンド毎のパーティ数と寄付金も表示されています。2016年から始まった本プロジェクトは、数多くのゴルファーに参加いただき、2018年末までに約320万パーティを記録しました。



FUTSAL FOR TWO：1ゴールで10食届く

フットサルの大会に参加し、ゴールを決めると給食10食が届く企画。学生が主体となって不定期に開催しています。

T 企業における取り組み

企業でも、従業員の健康づくりのため、企業スポーツ推進のために、スポーツでTFTに参加する事例が増えています。



本プロジェクトは、カロリーオフセット（菜園）への支援も含まれています。



大和証券グループ：KA・RA・DAいきいきプロジェクト

大和証券グループでは、従業員の健康増進のために「KA・RA・DAいきいきプロジェクト」を導入しています。ウォーキング・腹八分目・禁煙などの健康増進イベントや、健康リテラシー講座に参加すると、健康ポイントが付与され、そのポイントを、給食・菜園支援のために寄付することができます。

新日鉄住金エンジニアリング：ウォーキングで世界一周

新日鉄住金エンジニアリングは、健康×社会貢献企画として「ウォーキングキャンペーン」を実施しました。参加した従業員の歩数の累計で世界一周（41,877km）を目指し、達成できたら企業からTFTに寄付されるという取り組みを2ヶ月実施し、見事世界一周を達成しました。



三井住友カード：創業50周年企画でFリーグとコラボ

三井住友カードは、創業50周年を記念し、企業として協賛している「日本フットサルリーグ（Fリーグ）」2017/2018公式試合におけるゴール数に応じてTFTに寄付する企画を実施しました。1ゴールにつき給食50食分が寄付されました。



5 その他のご参加事例

TFTの活動への参加は形式にとらわれず、食や運動による参加方法だけでなく、着なくなった服、使わなくなった台所用品の寄付が給食の寄付に繋がる取り組みなど、さまざまな形があります。また、大学生による啓発活動や支援先へのスタディツアーも行われています。

1 もったいないを寄付につなげる取り組み

生活の中での様々な“もったいない”を寄付につなげる、環境にも社会にも優しい取り組みが増えてきています。



ホステルでのサステナブルなアクションが寄付に：KIKKA

“サステナブルホステル” KIKKAでは、シーツやタオル交換・アメニティの使用などの消費行動を“しない”という選択をしたり、特定のドリンクやメニューの注文をしたりすることで、給食を寄付することができます。



使わなくなったファッションアイテムを寄付：FCP

使わなくなったファッションアイテムを、支援先をTFTに選択してFASHION CHARITY PROJECTへ届けると、サイト内で販売され、売れた金額全額が寄付となります。アイテムを買うことで、活動を応援することもできます。

片付けで給食を届けよう

「台所ボックス」なら「捨てられない」台所用品で世界の子供が救えます

1口当たり5食分の給食を届けます

整理したいけど処分するのが困難な台所用品を送ると「TABLE FOR TWO」を通じて一口当たり5食分の給食を開発途上国の子どもたちに届けます。

© TABLE FOR TWO

台所用品をリサイクルして寄付：毎日が発見ショッピング

処分したくても「まだ使えるからもったいない」と眠らせていた台所用品を、専用の台所ボックスで送ると、開発途上国で中古品として活用され、さらに、ボックス1個購入につき、給食5食分を寄付することができます。



食品や飲料などの購入を通じて寄付：KURADASHI.jp

企業から商品を協賛価格にて依頼を受け、社会貢献意識の高い会員にマッチングさせることで食品ロスを削減することができるサービス。購入時にTFTへの支援を選択することで、購入価格の一部が給食のための寄付となります。

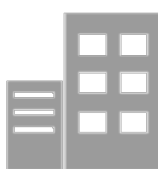
T 大学生による草の根の活動

TABLE FOR TWO University Association (TFT-UA) では、学生が主体となり、大学食堂へのTFTプログラム導入や大学内外での啓発活動を中心に行っています。



学食

学生が主体となり、給食会社との交渉やメニューの提案など、大学食堂へTFTプログラムを導入しています。導入後は、POP作成などで積極的に周知しています。



参加大学
約100校
TFT-UA所属学生数
約1000人
(※2018年末現在)

TFT-UAとは

TFTの理念に賛同する学生は、誰でも参加可能です。

2009年に設立し、現在は北海道・関東・東海・関西・中四国・九州に支部を設け、学内外でのTFT推進活動について情報共有や課題解決に取り組んでいます。



学園祭

2018年は30校以上の大学で、各大学のUAメンバーが学園祭で出店し、TFT寄付つきメニューを販売しました。学園祭は多くの集客があり、学外の方にTFTを広める場となっています。



本プロジェクトは、カロリーオフセットプログラム(菜園)への支援です。

カロリー消費を通した寄付

参加費の一部を寄付に充てる山登りイベントを開催。ヘルシーな食事を通しての寄付だけでなく、カロリー消費を通した寄付イベントを企画し、より多くの学生が気軽に参加できる場を創出しました。



支援先(フィリピン)スタディーツアー

TFTの支援先であるフィリピンへ訪問するスタディーツアーを、学生主体で企画し、年に1度実施しています。2018年は小学校への訪問に加え、小学校に通う生徒の家でホームステイし交流を深めました。



食品ロス啓発活動

「東京都食品ロスもったいないフェスタ」に出展。また、家庭で眠っている食材を持ち寄って新しい料理に変身させる「サルベージ・パーティー®」を定期的に開催し、楽しみながら課題解決に取り組んでいます。



6

海外でのTABLE FOR TWO

TFTの仕組みは、海を越えて海外にも広がっています。2018年までに、アメリカをはじめスイス、ドイツ、ノルウェーなどヨーロッパの国々、サウジアラビア、香港やベトナム、オーストラリアなど計14の国と地域でTFTプログラムが導入されました。アメリカとドイツでは特に活発に活動をしています。

アメリカでの取り組み

アメリカでは2017年にローンチした日本型の食育プログラムの Wa-shokuiku(和食育)が全米各地に広がっています。小学校～高校や各地のイベント（スミソニアンミュージアム、キッズミュージアム、サンリオショップ、図書館、食関連のイベントなど）でクラスが提供されており、2017年春にニューヨーク・ボストン・DC・カルフォルニアでローンチ後、既に2,000名以上にクラスが提供されています。



和食育が重視するポイント

1. 健康的な和食の調理方法
お弁当、味噌汁、お好み焼き etc
2. 食への感謝やマナー
「いただきます」「家族団らん」 etc
3. 世界の食料問題やアクション
「食料廃棄ともったいない精神」
「飢餓問題とおにぎりアクション」



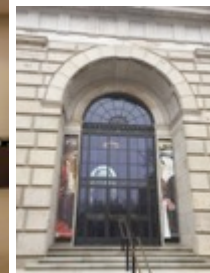
和食育@小学校～高校

学校では、放課後クラスや通常の授業の一環として導入されています。



和食育@スミソニアンミュージアム

ワシントンDCのスミソニアンミュージアム Freer and Sacklerで和食育イベントが開催されました。



TFT自販機プログラム

ニューヨークのMUFGや伊藤忠のオフィスにて20台以上導入されています。



和食育@ハローキティー&田中ファーム

ハローキティーとのコラボ。カリフォルニアで大人気の田中ファームで獲れた新鮮な野菜を使ってお弁当ワークショップを実施しました。



TFTヘルシー懐石弁当

厳選された素材で作られたとてもお洒落なTFT懐石弁当。注文するとロスアンゼルスやサンタモニカから作りたてのお弁当が届きます。

ドイツでの取り組み

欧州でも肥満は社会問題として認識されており、ドイツでも成人の4人に1人が肥満状態で、子どもの肥満も問題視されています。
2017年にドイツで非営利法人を設立し、寄付を募るとともに、「おにぎりアクション」への参加を呼びかけ、啓発活動に取り組んでいます。



おにぎりアクション チャリティ料理教室

ドイツ各地で16回のチャリティ料理教室が開催され、参加費の一部が給食プログラムのための寄付にあてられました。



パナソニック インダストリー ヨーロッパ

有志社員によるチャリティおにぎり教室を通じて、給食プログラムをご支援いただきました。



『ドイツで楽しむ日本の家ごはん』 『Japanisch kochen in Deutschland』

おにぎりアクションの期間中、まほろば社（在ミュンヘンの出版社）より、日本語とドイツ語のレシピ本の販売1冊につき1食の給食をご寄付いただきました。



180 Degrees Consulting

NPOの課題解決を支援する学生組織のフランクフルト支部、ミュンヘン支部とともに、ドイツでTABLE FOR TWOを拡大するための施策について検討しました。



7

支援先での取り組み

先進国でTFTのヘルシーメニューを食べることで、その1食がアフリカやアジアで温かな学校給食1食に生まれ変わります。アフリカ・アジアでは、学校給食は子どもたちにとって非常に大きな役割を果たしています。子どもたちの健康状態を改善するだけでなく、給食があることで子どもたちが初めて学校に通うことができるようになり、お腹が満たされることで学業にもより集中できるようになります。また、学校給食の運営を通して、地域コミュニティの大人たちの教育や栄養などに対する姿勢にも変化がみられるようになってきています。

1 支援プログラム概要

TFTでは、東アフリカに位置するウガンダ、エチオピア、ケニア、タンザニア、マラウイ、ルワンダとフィリピンの7か国で、学校給食プログラムと菜園・農業生産性向上プログラムの支援を行っています。

支援プログラムと実施地域



学校給食プログラム

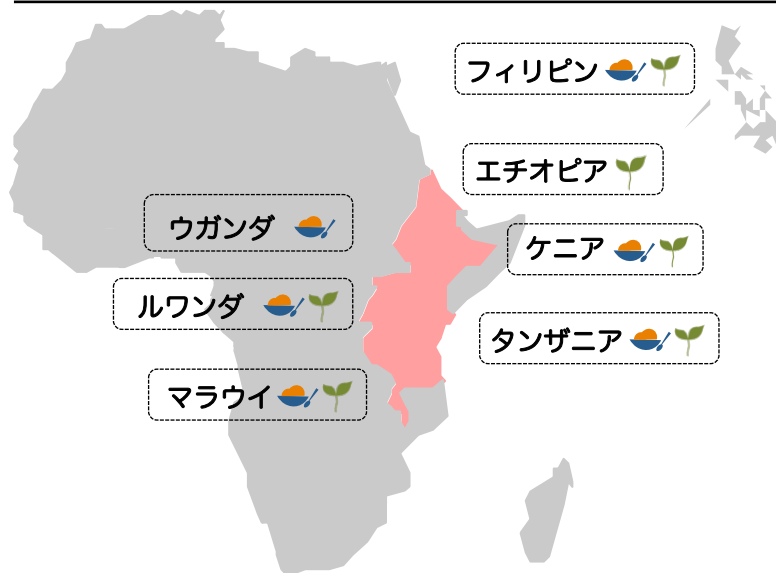
学校や地元コミュニティと協働し、小学校や幼稚園に通う子どもたちへ温かい給食を届けています。学期中のランチタイムに、地元の食材を用いた栄養価の高い給食を生徒たちへ提供しています。



菜園プログラム

持続可能な農業を展開することを通じて、自発的にカロリーを生み出していく仕組みづくりをしています。農業生産性向上のための指導やインフラ整備を実施し、学校菜園では、給食に用いる原材料の一部も生産しています。

主な支援地域



支援地域の選定基準

1. 深刻な貧困状況が生じていること（5歳未満の子どもの20%以上が基準体重未満）
2. 政情が安定していること
3. 給食事業の管理・報告体制が整備されていること

支援体制

支援プログラム実施にあたり、現地支援団体とパートナーシップを結んでいます。

現地支援団体	地域	給食	菜園
ACTION	フィリピン	○	○
Foundation for Irrigation and Sustainable Development	マラウイ	○	○
Kageno	ケニア、ルワンダ	○	○
• Ministry of Education and Vocational Training, Zanzibar • Partnership for Child Development	タンザニア	○	○
Slow Food Foundation for Biodiversity	エチオピア、ケニア、タンザニア、マラウイなど		○
World Food Programme	ウガンダ	○	

TFT 給食支援の様子と効果

TFTが届ける給食

TFTが届けている給食は、その国・地域によって異なります。



タンザニア ザンジバル諸島：

週2日は、子どもたちに不足しがちな栄養素”ビタミンA”を多く含むオレンジさつまいもを提供。残り週3日は、主食であるソルガム（もろこし）とカウピーのお粥を提供。

ケニア ムファンガノ島：

数種類のメニューを日替わりで提供。この日のメニューは、とうもろこしと煮豆に、湖で採れた小魚を加えたもの。別の日は、乾燥小魚やケール、ソルガム、キャッサバ、バナナなど。

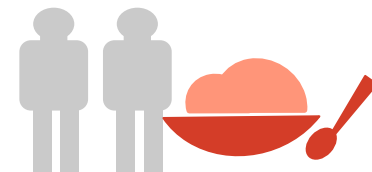


累計支援給食数

6,478万食

2018年にお寄せいただいた
寄付で届けられる給食数

795万食

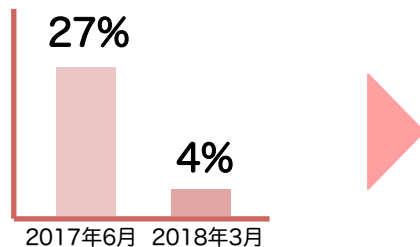


支援学校数、給食提供数(2018年)

地域	学校数	給食提供数 (1日平均)
ウガンダ	20	3,040
ケニア	9	2,822
タンザニア	9	5,883
ルワンダ	4	2,150
フィリピン	1	130

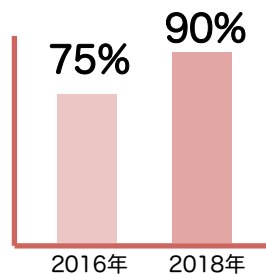
給食プログラムの効果

健康状態の改善



給食支援生徒のうち、極端な発育不良児の比率（フィリピン カステリヤホス）

教育の機会



基本的な読み書きと四則計算を習得した生徒の比率（ケニア ルシंगा島）

学力向上



学び続けて大学に進学する生徒も。（ルワンダ バンダ村）

地元農家への貢献



給食の食材を栽培している農家は、現金収入が入り、生活が改善

T 菜園支援の様子と効果



カロリーオフセットプログラムに参加している企業からの支援によって、菜園プログラムを実施しています。

TFTが支援する菜園づくり

TFTでは、支援先地域の持続可能な開発のために、学校菜園や地域菜園を設置する支援をしています。農業生産性向上のための指導を実施し、子どもたちや農家の知識向上に努め、いずれは学校・家庭で必要な食料を自ら賄えるようになることを目指しています。



タンザニアダルエスサラーム近郊：

学校菜園で8～10種類ほどの野菜を栽培しています。生徒たちは、授業で野菜の栄養と食べ方について学び、6年生になると、班に分かれて菜園の手入れをするようになります。学校で学んだ知識を家で実践する生徒も多くいます。

エチオピア アムハラ州他：

1980年代に大飢饉を経験したエチオピアは、近年も再び干ばつによる被害を受けました。簡易な灌漑設備を整えた地域菜園は有機農業の手法を学ぶ場になっています。



ルワンダバンダ村：

コミュニティセンターの近くに設置された地域菜園で、家畜ふん尿を使った堆肥を活用しています。収穫された野菜は、家庭で十分な食事を摂れず極端な栄養失調状態に陥ってしまった子ども向けの特別給食の材料になります。



累計支援菜園数

237ヶ所

2018年に設置した菜園数

50ヶ所



新たに設置した菜園 (2018年)



地域	設置数
ケニア	10
タンザニア	10
マラウイ	10
エチオピア	8
ザンビア	2
ベナン	10

ザンビア：TFT-USAの支援
ベナン：TFT-Germanyの支援

菜園プログラムの効果

給食費用の外部依存低減

地域の食育



収穫量が増えることで、給食費用の外部支援の比率を下げることができ、メニューにもバリエーションが生まれます。



菜園は地域に開かれており、地元農家が集って新しい農法や付加価値の高い野菜栽培方法を学ぶ場にもなっています。

1 現地からのメッセージ

タンザニア Ally Hapi小学校 6年生 Herminaちゃん

「あなたにとって人生で一番大事なものは？」という質問に、次のような答えが返ってきました。

「Education (教育)です。教育だけが私の生活を助けてくれるからです。一生懸命勉強して、将来はパイロットになりたいです。」



ルワンダ バンダ村 Chantalさんと娘のBladeちゃん

Chantalさんは、Bladeちゃんを産んだとき医者にかかれず、栄養不足から母乳も出ず、Bladeちゃんは、深刻な栄養失調になってしまいました。TFTの給食プログラムに参加して1年後、母子ともに健康状態が改善しました。

「娘は今、元気に幼稚園に通っています。友達とたくさん遊んで、学校に行くようになったらしっかり勉強をして、将来は国立公園で働けるような人になってくれることを願っています。」



ケニア ルシंगा島の生徒たち

「小学校で毎日おいしい給食を食べられるようになり、本当によかったです。」（Ojowi 4年生）

「毎日学校に行って、友達と遊んだり給食を食べられるのが楽しいです。週末になると、学校の始まる月曜日が待ち遠しくなります。」

（Migure 2年生）



タンザニア Mbuyuni小学校の生徒

菜園クラブに所属している生徒の一人は、学校で学んだ野菜の知識、農業技術を家でも実践しはじめました。

「自宅で食べることができる野菜が増え、栄養もたっぷり補えるので、両親はとても賞賛してくれています。今は、親戚にも教えています。」

ルワンダ バンダ村 Josephineさん

5人の子どもがいるJosephineさんは、村で「野菜づくりのおばちゃん」として知られています。

「子どもたちは学校で給食を食べることができるようになり、お腹をすかせた毎日を過ごさなくてよいのを本当に嬉しく思っています。」



タンザニア ザンジバル諸島 農家 Piliさん

Piliさんは、給食の材料となる作物をつくる農業プログラムに参加し、栽培方法と作物の価値を学んだことがきっかけで、収量を増やして自分でも販路を開拓するようになりました。

「農業を学んだおかげで現金収入を得て、子どもの学費が払えるようになりました。屋根と電気がない家に住んでいましたが、今、石造りの家を建て始めています。」





8

団体概要

TABLE FOR TWOが届ける、先進国での健康的な食事、そして開発途上国での温かい給食。
これらは、TFTを支えてくださる皆様の力無くして成し遂げられるものではありません。
TABLE FOR TWOの活動を支えてくださる方々をご紹介します。

あなたがヘルシーな食事をとると、
世界の子どもに笑顔が生まれます。

1 参加団体一覧 (1)

食堂(企業)

【建設業】

鹿島建設株式会社
近畿セキスイハイム工業株式会社
清水建設株式会社
新日鉄エンジニアリング株式会社
大成建設株式会社
千代田化工建設株式会社

【食料品】

アサヒグループホールディングス株式会社
味の素株式会社
井村屋グループ
春日井製菓株式会社
カバヤ食品株式会社
株式会社中村屋
株式会社ニチレイ
株式会社ニチレイフーズ
日本コカ・コーラ株式会社
日本水産株式会社
日本たばこ産業株式会社
森永乳業株式会社
ロイヤルホールディングス株式会社

【パルプ・紙】

住化加工紙株式会社

【繊維製品】

帝人株式会社
株式会社ワコール

【化学】

朝日化学工業株式会社
花王株式会社
株式会社カネカ
ユニチカ株式会社
JSR株式会社
株式会社資生堂
住化アルケム株式会社
住化カラー株式会社
住化農業資材株式会社

住友化学株式会社
住友ダウ株式会社
スリーエムジャパン株式会社
スリーエムジャパンプロダクツ株式会社
積水化学グループ
株式会社積水化成製品関東
株式会社積水化成製品天理
帝人ファーマ株式会社
東都積水株式会社
株式会社トクヤマ
株式会社ポーラ・オルビスホールディングス
三菱ケミカル株式会社

【ガラス・土石製品】

AGC株式会社
TOTO株式会社
日本ガイシ株式会社
日本特殊陶業株式会社

【医薬品】

大塚グループ
新日本製薬株式会社
第一三共株式会社
大日本住友製薬株式会社
田辺三菱製薬株式会社
Tamer Group
ノバルティスファーマ株式会社
みらかグループ

【ゴム製品】

住友理工株式会社
株式会社ブリヂストン

【金属製品】

株式会社スミハツ
株式会社ダイマツ
東洋製罐グループホールディングス株式会社
日本発条株式会社

【非鉄金属】

住友電気工業株式会社
株式会社フジクラ

【機械】

アイシン・エーアイ株式会社
NTN株式会社
株式会社NTN上伊那製作所
株式会社NTN三重製作所
株式会社荏原製作所
株式会社キッツ
グローリー株式会社
光洋サーモシステム株式会社
CKD株式会社
東芝機械株式会社
日立建機株式会社
豊生ブレーキ工業株式会社
三菱重工業株式会社
村田機械株式会社

【輸送用機器】

アイシン・エイ・ダブリュ株式会社
アイシン化工株式会社
アイシン機工株式会社
アイシン辰栄株式会社
アイシン精機株式会社
アイシン高丘株式会社
株式会社アドヴィックス
いすゞ自動車株式会社
株式会社エイ・ダブリュ・エンジン
アリング
三桜工業株式会社
トヨタ自動車株式会社
トヨタ紡織株式会社
ボッシュ株式会社
マルヤス工業株式会社
三菱ふそうトラック・バス株式会社

【電気機器】

株式会社アルバック
オムロン株式会社
堺ディスプレイプロダクト株式会社
株式会社ジーエス・ユアサコーポレーション
シャープ株式会社
株式会社SCREENホールディングス
住友電エデバイス・イノベーション株式会社
ソニーグローバルマニュファクチャリング &
オペレーションズ株式会社
東京エレクトロン株式会社
日本アイ・ピー・エム株式会社
日本電子株式会社
パナソニック株式会社
パナソニックエコシステムズ株式会社
パナソニック株式会社 アプライアンス社
パナソニック株式会社 オートモーティブ & インダストリアルシステムズ社
パナソニック株式会社 人材開発カンパニー
パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社
パナソニック システムソリューションズ
ジャパン株式会社
株式会社日立国際電気
株式会社日立製作所
株式会社村田製作所
株式会社リコー

【電気・ガス】

関西電力株式会社
中部電力株式会社
東京ガス株式会社
東京電力ホールディングス株式会社

【石油・石炭・鉱業】

昭和シェル石油株式会社

【精密機器】

IDEC株式会社
株式会社HGSTジャパン
オリンパス株式会社
オリンパスメディカルシステムズ株式会社
株式会社 KOKUSAI ELECTRIC
シチズン時計株式会社
ソニーセミコンダクタ株式会社
株式会社デンソーウェーブ
株式会社東北村田製作所
株式会社栃木ニコン
長野オリンパス株式会社
株式会社ニコン
日機装株式会社
ベックマン・コールター株式会社

【その他製品】

株式会社EM生活
オルビス株式会社
ソーラーフロンティア株式会社
デクセリアルズ株式会社
トッパン・フォームズ株式会社
NISSHA株式会社
三菱重工冷熱株式会社

1 参加団体一覧 (2)

【倉庫・運輸】

西濃運輸株式会社
西日本旅客鉄道株式会社
日本交通株式会社
日本郵船株式会社
全日本空輸株式会社

【情報・通信】

アロージャパン株式会社
株式会社インテック
エイベックス株式会社
株式会社NTTドコモ
株式会社学研ホールディングス
ココネ株式会社
株式会社SOMPOシステムズ株式会社
株式会社電通国際情報サービス
東京海上日動システムズ株式会社
トッパン・フォームズ関西株式会社
株式会社日本総合研究所
日本テレビ放送網株式会社
日本電信電話株式会社
日本ビューレット・パッカード株式会社
日本ユニシスグループ
株式会社野村総合研究所
東日本電信電話株式会社

【放送】

朝日放送グループホールディングス
株式会社
日本放送協会 (NHK)

【卸売】

伊藤忠商事株式会社
岡谷鋼機株式会社
キャノンマーケティングジャパン
株式会社
株式会社サンゲツ
JFE商事株式会社
住友商事株式会社
双日株式会社
豊田通商株式会社
長瀬産業株式会社
丸紅株式会社
三井物産株式会社
三菱商事株式会社
リシュモンジャパン株式会社

【小売】

アスクル株式会社
株式会社岡山高島屋
株式会社岐阜高島屋
株式会社下関大丸
株式会社大丸松坂屋百貨店
株式会社高崎高島屋
株式会社高島屋
株式会社博多大丸
株式会社ファーストリテイリング
株式会社ファミリーマート
株式会社丸井グループ
株式会社三越伊勢丹
株式会社米子高島屋
株式会社ラッシュジャパン
ロイヤルホールディングス
株式会社

【銀行】

株式会社あおぞら銀行
HSBCグループ
株式会社愛媛銀行
近畿大阪銀行
株式会社埼玉りそな銀行
信金中央金庫
株式会社日本政策投資銀行
日本マスタートラスト信託銀行株式会社
株式会社百十四銀行
株式会社ふくおかフィナンシャルグループ
株式会社三井住友銀行
株式会社りそなホールディングス

【保険】

アフラック (アメリカンファミリー生命保険会社)
住友生命保険相互会社
損害保険ジャパン日本興亜株式会社
第一生命保険株式会社
東京海上日動火災保険株式会社
トア再保険株式会社
三井住友海上火災保険株式会社

【証券】

ゴールドマン・サックス
株式会社大和証券グループ本社
ドイツ証券株式会社
野村グループ
BNPパリバ・グループ
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

【その他・金融】

SMBCコンシューマーファイナンス株式会社
株式会社証券保管振替機構
三井住友カード株式会社
三井住友ファイナンス&リース株式会社

【不動産】

住化不動産株式会社
東京ガス都市開発株式会社

【新聞】

朝日新聞社
一般社団法人共同通信社
東京新聞 (中日新聞東京本社)
日本経済新聞社
株式会社毎日新聞社

【出版】

株式会社講談社

【その他】

伊豆ヘルス・ケア株式会社
株式会社マンマグラッチェ

【サービス】

NTTコミュニケーションズ株式会社
NTTコムウェア株式会社
株式会社NTTデータ
株式会社NTT東日本サービス
エムシーパートナーズ株式会社
株式会社オー・ド・ヴィー
株式会社オージス総研
株式会社神戸ポートピアホテル
シェアリングテクノロジー株式会社
JPタワー名古屋
ジャパンウェルネス株式会社
株式会社住化HRサービス
株式会社住化技術情報センター
株式会社住化分析センター
株式会社大和証券ビジネスセンター
株式会社大和総研ホールディングス
TIS株式会社
株式会社ティーエムホールディングス
株式会社帝国ホテル
株式会社電通
株式会社ニチダン
株式会社ホテルオークラ東京ベイ
株式会社目黒雅叙園
株式会社メディヴァ
株式会社ル・タンプル

1 参加団体一覧 (3)

食堂(学校)

愛知淑徳大学
青山学院大学
茨城大学
宇都宮大学
江戸川大学
愛媛大学
大阪教育大学
大阪国際大学
大阪市立大学
大妻女子大学
お茶の水女子大学
香川大学
学習院大学
鹿児島大学
神奈川大学
学校法人鎌倉女子大学
神田外語大学
関東学院大学
北九州市立大学
九州工業大学
九州大学
京都外国語大学
京都職業能力開発短期大学校
京都府立大学
共立女子大学
学校法人近畿大学
国立大学法人熊本大学
久留米大学
甲南女子大学
国際教養大学
国際基督教大学
駒澤大学
埼玉大学
佐賀大学
相模女子大学
静岡県立大学
公立大学法人下関市立大学生協
学校法人城西大学
上智大学
学校法人聖カタリナ学園
成蹊大学
聖心女子大学
清泉女子大学
西南学院大学
西南女学院大学
専修大学
仙台白百合女子大学
創価大学

千葉大学
中央大学
中京大学
津田塾大学
TFT北星
東海大学
東海大学短期大学部
東京学芸大学生協
東京経済大学
東京工業大学
東京大学
東京農業大学
東京農工大学
東洋大学
徳島文理大学
獨協医科大学
獨協大学
長崎大学
名古屋工業大学
名古屋大学
新潟国際情報大学
日本大学
一橋大学
兵庫県立大学
広島市立大学
福岡教育大学
福岡工業大学
福岡女学院大学
文教大学
三重大学
宮崎大学
名桜大学
明治大学
山口県立大学
横浜市立大学
立命館アジア太平洋大学
琉球大学
和歌山大学
早稲田大学
香川県立観音寺総合高等学校
学校法人KTC学園屋久島おおぞら高等学校
神戸市立葺合高等学校
神戸山手女子中学校高等学校
聖心インターナショナルスクール

食堂(官公庁、公的機関)

厚生労働省
参議院
衆議院
特許庁
内閣府
防衛省共済組合
法務省
文部科学省
足立区職員互助会
茨城県庁生活協同組合
帯広市役所
柏市役所
刈谷市役所
相模原市職員厚生会
品川区職員互助会
立川市役所
長野県庁生活協同組合
練馬区
北海道留萌振興局
一般財団法人三重県職員互助会
目黒区
大和市
横浜市職員厚生会
独立行政法人国際協力機構
国立研究開発法人理化学研究所

食堂(病院)

愛知医科大学病院
医療法人永和会
社会福祉法人恩賜財団済生会支部栃木県済生会宇都宮病院
社会医療法人河北医療財団
財団法人恵和会(熊本大学病院内)
医療法人健康会 京都南病院グループ
一般財団法人信貴山病院
医療法人社団寿量会 熊本機能病院
医療法人社団 清和昌綾会 飯沼病院
中京病院
社会医療法人財団白十字会佐世保中央病院
社会医療法人財団白十字会白十字病院
社会医療法人財団白十字会耀光リハビリテーション病院
医療法人社団ワイズレディスクリニック

食堂(その他団体)

大阪住友ビル
大阪リバーサイドロータリークラブ
一般社団法人埼玉県年金福祉協会
住友化学労働組合
全国共済農業協同組合連合会 全国本部
全労済
特別養護老人ホーム 菅田心愛の里
名古屋住友クラブ
非公開団体1

食堂(外食店)

東京エアポートレストラン株式会社

参加団体一覧 (4)

CFT(企業)

【建設業】

ダイダン株式会社

【食料品】

アサヒ飲料株式会社
キュービー株式会社
キリンビール株式会社
日清オイリオグループ株式会社
日本水産株式会社
ロイヤルホールディングス株式会社

【水産・農林】

有限会社丸浅苑

【繊維製品】

帝人株式会社

【化学】

株式会社イーテック
JSR株式会社
スリーエムジャパン株式会社
積水化学グループ
積水樹脂株式会社
積水フィルム株式会社

【医薬品】

田辺三菱製薬株式会社
サント株式会社
白鳥製薬株式会社

【ゴム製品】

株式会社ブリヂストン

【金属製品】

日本発条株式会社
SEIビジネススクレイツ株式会社
田中貴金属工業株式会社

【鉄鋼】

NGKメテックス株式会社

【機械】

エース設計産業株式会社
NTN株式会社
株式会社キッツ
日本キャタピラー合同会社
グローリー株式会社
三菱重工株式会社
三菱日立パワーシステムズ株式会社

【電気機器】

サンケン電気株式会社
ソニー株式会社
東亜ディーケーケー株式会社
東京エレクトロン株式会社
東洋アルミニウム株式会社
日本電気株式会社
株式会社日立国際電気
株式会社村田製作所

【精密機器】

会津オリンパス株式会社
青森オリンパス株式会社
オリンパス株式会社
オリンパスメディカルシステムズ株式会社
リシュモンジャパン株式会社
株式会社栃木ニコン
長野オリンパス株式会社
株式会社ニコン

【その他製品】

トッパン・フォームズ株式会社
パナソニックES建設エンジニアリング株式会社

【倉庫・運輸】

株式会社キューソー流通システム
トッパン・フォームズ・サービス株式会社
リコーロジスティクス株式会社
日本郵船株式会社
株式会社ジェイアール西日本交通サービス
帝人物流株式会社
フレイト商事有限会社

【情報・通信】

株式会社イーネット
SCSK株式会社
MXモバイルリング株式会社
株式会社gumi
グリー株式会社
KDDI株式会社
コネクシオ株式会社
株式会社ティーガイア
株式会社電通国際情報サービス
トッパン・フォームズ関西株式会社
日商エレクトロニクス株式会社
日本通信ネットワーク株式会社
株式会社野村総合研究所

【卸売】

NGKファインモールド株式会社
アップルオートネットワーク株式会社
リシュモンジャパン株式会社
伊藤忠マシンテクノス株式会社
株式会社美濃忠
三菱商事エネルギー株式会社
三菱商事株式会社
長瀬産業株式会社
豊田通商株式会社

【小売】

イオンリテール株式会社
オイシックス株式会社
ロイヤルグループ
ロイヤルホールディングス株式会社
株式会社クリエイト・レストランツ・ホールディングス
株式会社丸井グループ
株式会社東急百貨店
合同会社西友
日本経済新聞販売協同組合

【銀行】

株式会社SMBC信託銀行
株式会社みずほフィナンシャルグループ
株式会社三井住友銀行

【保険】

NGKゆうサービス株式会社
株式会社スンダイ
損害保険ジャパン日本興亜株式会社

【証券】

SMBC日興証券株式会社
JPモルガン証券株式会社
ゴールドマン・サックス
ドイツ証券株式会社
株式会社大和証券グループ本社
野村グループ

【その他・金融】

三井住友ファイナンス&リース株式会社
三井住友カード株式会社

【不動産】

DBJリアルエステート株式会社
株式会社ピーオーリアルエステート
株式会社リビタ
株式会社電気ビル
積和不動産株式会社
三菱地所株式会社

【サービス】

アライドアーキテツ株式会社
株式会社アルプス技研
株式会社泉平
インフォシス・テクノロジーズ
内堀商店
株式会社HBA
SAPジャパン株式会社
NTNテクニカルサービス株式会社
NTTテクノクロス株式会社
株式会社NTT東日本サービス
株式会社NTTファシリティーズエンジニアリング
GCA株式会社
住友三井オートサービス株式会社
双日総合管理株式会社
大和オフィスサービス株式会社
株式会社ティーエムホールディングス
デロイトトーマツグループ
株式会社電通
トッパン・フォームズ・セントラルプロダクツ株式会社
株式会社日立ソリューションズ
株式会社プロトメディカルケア
株式会社ミウラクリエイト
株式会社LEOC

【外食店】

イタリアントマト カフェジュニア品川
シーサイド店
えこりん村
シティプラザ大阪
ボンジュール・ボン株式会社

1 参加団体一覧 (5)

CFT(学校)

亜細亜大学
学校法人聖カタリナ学園
西南女学院大学
玉川大学
筑紫女学院大学
長崎女子短期大学
福岡教育大学
福岡女学院大学
北海道武蔵女子短期大学
名城大学
学校法人安達文化学園
聖カタリナ女子高等学校
筑紫女学院付属幼稚園
長崎女子高等学校
三輪学園中学校・高等学校

CFT(病院)

アイファミリークリニック
社会医療法人財団白十字会佐世保中央病院

CFT(その他団体)

独立行政法人国際協力機構
おへそこども園
パナソニックES建設エンジニアリング株式会社
労働組合
パナソニック電工リビング首都圏労働組合
柴又帝釈天駐車場
麻生商店街振興組合
名古屋住友クラブ

小売／宅配

アスクル株式会社
一宮物産株式会社
イニアビ農園
株式会社イノベイド
株式会社岩崎食品
有限会社ヴィライプ
株式会社エニグモ(オフィスおかん)
株式会社エヌ・エス・ケー
NTTビズリンク株式会社
株式会社エル・ローズ
オイシックス・ラ・大地株式会社
株式会社おかん
お弁当 こう月
菓子工房アントレ
株式会社カゾック
京都学園大学
京都光華女子大学
京都市立芸術大学
京都薬科大学
キリンアンドコミュニケーションズ株式会社
(法人宅配)
キリンエコー株式会社(法人宅配)
キリングループロジスティクス(法人宅配)
キリンビジネスエキスパート株式会社
(法人宅配)
キリンビール健康保険組合(法人宅配)
キリンビバレッジバリューベンダー株式会社
(法人宅配)
キリン福祉財団(法人宅配)
キリンホールディングス株式会社(法人宅配)
株式会社Cuore
株式会社 郡上割り箸
グラウクス株式会社
有限会社ゲンベイ商店
COBALT
株式会社Collagen Shell
株式会社KOMPEITO
桜えびやきそば普及会
株式会社GNS
JA全農たまご株式会社(卵)
JSR株式会社
シチズン時計株式会社
株式会社SynaBiz
シニフィアン・シニフィエ世田谷本店
上智大学
Sweets Oblige by Asa & Lisa
スターフェスティバル株式会社
株式会社スリーエフ

株式会社ソニー・ピクチャーズエンタテインメント
株式会社大和証券グループ本社
株式会社高島屋
世界のごちそう博物館
株式会社セルフメディケーションジャパン
全農パールライス株式会社
たっくんのポップコーン
デロイトトーマツ グループ
株式会社デンタルフィット
株式会社東京金融取引所
東洋製罐グループホールディングス株式会社
株式会社トクヤマ
トッパン・フォームズ株式会社
ナチュロパシー・ジャポン株式会社
株式会社なにわ屋
日理株式会社
野村グループ
株式会社ハウスオブロータス
株式会社はくばく
花園大学
piece to peace
株式会社ヒサミツセンター
ビナーシェ
株式会社フェイスリット
FELICE
株式会社ぶらいむ
ほんざわ農園
株式会社松屋
株式会社三菱ケミカルホールディングス
株式会社ミライトリンク
みらかグループ
むぎわらや
株式会社メディカルフーズみのりや
株式会社モンテローザ
有限会社やましち
ライフウエル
ラッシュ株式会社
株式会社ランクアップ(オフィスおかん)
ロイヤルグループ
WILD JOKER

レストラン、カフェ、披露宴

Urban Indian Foods 株式会社
株式会社アクロスリング
厚木ガーデンシティビル株式会社
AriHa café

株式会社アルス
杏亭グループ
居酒屋あるばか
イタリアン・トマト カフェジュニア品川シーサイド店
株式会社イヤタカ(披露宴)
うるとらカフェ
有限会社エアボーン
Ages Café
永平寺 禅どうふの郷 幸家
Eggs 'n Things
おかげさまで株式会社
Ocha Japanese Restaurant
THE BOWL
OLIVE BRANCH
カフェ アマンド
カフェ・カンパニー株式会社
Cafe&Meal MUJI
カフェオランジュ
Cafe Ria-ria
スプーンテーブル
カレッタ汐留
株式会社GIZMO
九州炎 藤沢店
株式会社グラン
株式会社グローバルアリーナ
小空カフェ
コミュニティカフェみんなのおうち
コンティニヤハンテュイアン
株式会社桜木フオペレーション
札幌グランドホテル
札幌サンブラザ
株式会社サンホテル
株式会社CK Food International
株式会社J.フロントフーズ
株式会社四季工房
株式会社シティスタジオ
シティプラザ大阪(披露宴)
株式会社Giancaldo
10°CAFE
株式会社主人公
Shin's BURGER
ShinZenBi
スタイル・ディベロップ株式会社
SPOON CAFE & RESTAURANT
SPOON Veggial Farm
株式会社souleat
株式会社ダイフク

1 参加団体一覧 (6)

高松国際ホテル ぐりる屋島
株式会社WDI JAPAN パパ・ガンブ・シュリンプ
(東京店、ららぽーと豊洲店、大阪店)
月と田んぼ
Tea and Antiques 辰巳茶房
株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ ブルーポイント
有限会社テテ
東京第一ホテル錦
とうふ工房 味華
有限会社東邦企業
株式会社名古屋東急ホテル(披露宴)
ナチュラルグレース有限会社
02カフェ
株式会社命薬
株式会社PRBANK
有限会社ピッツェリア
FELICE
株式会社福菱
ふぐ料理と有機野菜 とく山
株式会社ブレイクスルー
プレミアムトレジャーズ株式会社
ポーラ美術館
株式会社Bolts
株式会社松屋
丸亀製麺
Meat Bank 株式会社
ミドリカフェ
株式会社未来
社会福祉法人武蔵野
メゾンデリス三番町
モワルーズ
ヤンゴン 創作和食いずみ
株式会社U.C.T.corporation
有限会社ユーズマーケット
UDS株式会社
らーめんえにし
株式会社ライフスタイルアドベンチャー
リッチインターナショナル株式会社
りのべ部
Le Bar a Vin 52

キャンペーン

株式会社大丸松坂屋百貨店
株式会社博多大丸
株式会社大丸松坂屋百貨店
株式会社博多大丸
b-monster(スポーツ)
FiNC Technologies(スポーツ)
株式会社フジクラ
三井住友カード株式会社
宮本慎也杯実行委員会
吉田金属工業株式会社

おにぎりアクション

旭化成ホームプロダクツ株式会社
味の素冷凍食品株式会社
イオン九州株式会社
イオンモール株式会社
イオンリテール株式会社
イオンリテールストア株式会社
株式会社伊藤園
オイシックス株式会社
シチズン時計株式会社
写真文化首都「写真の町」東川町
象印マホービン株式会社
東京エレクトロン株式会社
日産自動車株式会社
日本航空株式会社
FiNC Technologies(スポーツ)
福井県
福井県あわら市
株式会社ますやみそ
丸紅株式会社

カロリーオフセット

ゴルフダイジェスト・オンライン(スポーツ)
合同会社西友
株式会社大和証券グループ本社
DIETA(スポーツ)
株式会社ファンルーツ
FiNC Technologies(スポーツ)

その他

アースウェル株式会社
株式会社アプラス
石原果樹園
株式会社一休
株式会社ウオーターダイレクト
ウム・ヴェルト株式会社
株式会社ngoro-ngoro
HSJスターズ株式会社
HB株式会社
株式会社エスプール
沖マイクロ技研株式会社
ガードナー株式会社
花王株式会社
Cafe&Meal MUJI
キュービー株式会社
GRAND REVE
株式会社講談社
医療法人香裕会
株式会社ココロ
じてんしゃ修理隊
湘南台ゆがみ改善整体院
ジョルダン株式会社
合同会社西友
SEDCO
株式会社7garden
SOL design
一般財団法人損保ジャパン日本興亜マイ
ルキッズ
第一園芸株式会社
株式会社タイドハーツ
大鵬薬品工業株式会社
株式会社大和証券グループ本社
株式会社タカラレーベン
株式会社ディグアウト
株式会社Tポイント・ジャパン
東急住宅リース株式会社
株式会社TODOKISUGI
豊田通商株式会社
株式会社ドリーム
名古屋栄ロータリークラブ
日本リユースシステム株式会社
株式会社ハイパーボックス
BANZAI CAFE
箱根植木株式会社
株式会社be Organic
株式会社ピーオーリアルエステート

株式会社ヒサミツセンター
福井ママ育児英語サークルEnhance
株式会社ブライド
株式会社ブライトテーブル
株式会社ベネフィット・ワン
合同会社Mercury
株式会社マックスガイホールディングス
三井物産株式会社
ヤフー株式会社
Yummy Japan
YOUR BIG FAMILY
株式会社USEN Media
Udemy, Inc.
株式会社夢ふおと
ライフウェル(スポーツ)
株式会社ライブロンコーポレーション
楽天株式会社
ラックオングリーン(スポーツ)
合同会社Lihito
World Economic Forum
ワコール流通株式会社
株式会社waja

TABLE FOR TWOを支えてくださる方々

パートナー

パートナー企業には運営資金をご支援いただいています。TABLE FOR TWOの輪を広げ、社会事業を育成するために、力強いご支援をいただいています。



プロフェッショナル・サポーター

プロフェッショナル・サポーターの皆さまに、法務、財務、ウェブ構築などの専門的な分野で、ご支援いただいています。

【法人】

株式会社セールスフォース・ドットコム

- ・Salesforceライセンスを無償提供いただいています。
- ・社員の皆さんに封入ボランティアにお越しいただきました。

株式会社電通

- ・PR活動や各種企画のクリエイティブアイデアでご協力いただいています。

株式会社パソナテキーラ

- ・Tagboardを無償提供いただいています。

株式会社 Phone Appli

- ・会場を無償提供いただきました。

【個人】

渡辺 伸行 様	/TMI総合法律事務所	弁護士
佐藤 俊司 様	/TMI総合法律事務所	弁理士
小林 奈央 様	/TMI総合法律事務所	弁理士
滝沢 麻理 様	/TMI総合法律事務所	
村瀬 悟 様	/Mayer Brown LLP	弁護士

鎌田 幸子 様	/司法書士	田澤 玲子 様	/PR
佐佐木 由美子 様	/社会保険労務士	福嶋 智美 様	/デザイナー
林 万里子 様	/税理士	飛澤 知則 様	/WEBプログラマー
大小田 直貴 様	/映像クリエイター	森田 聖也 様	/WEBデザイナー
矢花 宏太 様	/事業開発	グーグル合同会社	有志の皆様
遠藤 由美 様	/事業開発		
加藤 淳 様	/事業開発		(役職等は2018年末現在)



dentsu





T 事務局運営のサポート体制

アドバイザー

アドバイザーの方々にはTFTの戦略、運営に関するご相談をさせていただきます、アドバイスを頂戴しております。

石倉 洋子	一橋大学名誉教授
川口 順子	明治大学国際総合研究所特任教授／元外務大臣
黒川 清	内閣官房健康・医療戦略参与／東京大学名誉教授
小泉 泰郎	株式会社FiNC Technologies 代表取締役 CFO兼CIO
田村 次朗	慶應義塾大学法学部 教授
高木 康裕	菓子工房アントレ シェフパティシエ
三國 清三	ソシエテミクニ代表取締役

評議員

評議員はTABLE FOR TWOの趣旨に賛同し、ご自身の専門知識やご経験、ネットワークを活かし、TFTにご助力くださる皆様です。TFTの日本国内での事業拡大や、グローバルでの活動拡大に貢献いただいております。

大塚 太郎	大塚倉庫株式会社 代表取締役社長
島田 久仁彦	株式会社KS International Strategies 代表取締役
松崎 みさ	株式会社PeopleWorldWide代表取締役

ファウンダー

TFT創業者です。TFTのあらゆる活動に対する協力と、理事会における重要な意思決定に対するアドバイスをを行います。

近藤 正晃ジェームス	MITメディアラボ客員サイエンティスト／ 一橋大学大学院国際企業戦略研究科客員教授
堂前 宣夫	株式会社ディー・エヌ・エー社外取締役／ マネックスグループ社外取締役
古川 元久	衆議院議員
浅尾 慶一郎	前衆議院議員
須田 将啓	株式会社エニグモ 代表取締役
高島 宏平	オイシックス・ラ・大地株式会社 代表取締役社長
藤沢 久美	シンクタンク・ソフィアバンク 代表
船橋 力	トビタテ!留学JAPAN プロジェクトディレクター
松田 公太	前参議院議員 /タリーズコーヒージャパン創業者

T メディア掲載一覧 2018年

新聞

読売新聞	1月30日
毎日新聞	4月30日
毎日新聞	5月23日
朝日新聞	6月7日
産経WEST	6月30日
神戸新聞	7月2日
日刊スポーツ	7月20日
中日新聞	7月25日
全国賃貸住宅新聞	8月3日
産経新聞	10月10日
日本食糧新聞	10月10日
財経新聞	10月10日
食品産業新聞	10月11日
毎日新聞	10月14日
日本外食新聞	10月15日
京都新聞	10月19日
北國新聞	11月1日
北國新聞	11月4日
読売新聞	11月23日

計19回



神奈川) おにぎり写真投稿すると...世界の子に給食寄付

食料問題、2018年11月10日(金)10時00分

おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付、神奈川、おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付

おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付、神奈川、おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付

おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付、神奈川、おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付

おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付、神奈川、おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付

おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付、神奈川、おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付

おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付、神奈川、おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付

おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付、神奈川、おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付

おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付、神奈川、おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付

おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付、神奈川、おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付

おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付、神奈川、おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付

おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付、神奈川、おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付

おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付、神奈川、おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付

おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付、神奈川、おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付

おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付、神奈川、おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付

おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付、神奈川、おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付

おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付、神奈川、おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付

おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付、神奈川、おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付

おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付、神奈川、おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付

おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付、神奈川、おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付

おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付、神奈川、おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付

おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付、神奈川、おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付

おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付、神奈川、おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付

おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付、神奈川、おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付

おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付、神奈川、おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付

おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付、神奈川、おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付

おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付、神奈川、おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付

おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付、神奈川、おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付

おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付、神奈川、おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付

おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付、神奈川、おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付

おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付、神奈川、おにぎり、写真投稿、世界の子、給食寄付

雑誌

PHP研究所	2月10日
LIVING多摩	3月31日
エル・ジャポン	4月26日
せいぎょう	10月1日
国際協力キャリアガイド	10月22日

計5回

テレビ

NHK	2月8日
J:COM	2月11日
フジテレビ	11月17日

計3回



WEB記事

b-monster.fit	3月7日	ロケットニュース24	10月16日
グノシー	3月9日	Gohan	10月16日
プレジデントオンライン	5月1日	デジタル毎日	10月16日
b-monster.fit	5月14日	デジスタイル京都	10月16日
Clnet JAPAN	6月5日	デジタル毎日	10月18日
サステナブルブランドジャパン	6月6日	室蘭民報webサイト	10月18日
サステナブルブランドジャパン	6月7日	ママスタ	10月19日
N e w s Picks	6月7日	Yahoonews	10月19日
Yahoonews	6月7日	ママタス	10月20日
Jcastトレッド	6月9日	神戸新聞next	10月23日
Cnet	7月18日	ITmedia ビジネスオンライン	10月26日
N e w s Picks	7月18日	Mamael	10月30日
アブラ	7月20日	Yahoonews	11月5日
Cnet	7月28日	朝日新聞デジタル	11月11日
Buycott	8月1日	朝日新聞デジタル	11月15日
おうちごはん	8月17日	AERA dot	11月17日
ライブドアニュース	8月17日	NIFTYニュース	11月20日
Elle	8月22日	デイリーニュースオンライン	11月20日
MIMPAKU.BIZ	8月22日	NEWS SALT	11月24日
Cafeglobe	8月31日	SUSTAINABLE BRANDS	11月29日
rakuteninfoseekWOMAN	9月5日	DRIVE	12月18日
Gohan	9月14日		
週刊アスキー	9月26日		
Value Press!	9月26日		
LEE	10月10日		
フードウィークリー	10月10日		
Iza	10月10日		
JIJI.COM	10月10日		
フードウィークリーweb	10月10日		
食めぐ!	10月11日		
car view!	10月12日		
WorkMaster	10月12日		
AUTO PROVE	10月12日		
チャリツモ	10月12日		
デジタル毎日	10月14日		
Buycott	10月16日		
こどものヒトサラ	10月16日		
Hanakoママweb	10月16日		

計59回



2018年度財務諸表

◆活動計算書

2018年1月1日～2018年12月31日 (単位：円)

科目	金額		
	一般正味財産 増減(注1)	指定正味財産増減 (注1)	合計
収益(注2)			
受取会費	90,000	-	90,000
受取寄付金	2,822,735	-	2,822,735
事業寄付金収益	38,081,418 (注1)	152,325,670(注1)	190,407,088
啓発事業収益	37,249,511	-	37,249,511
その他	2,126	-	2,126
一般正味財産への 振替額(注1)	110,624,738	-110,624,738	-
収益 計	188,870,528	41,700,932	230,571,460
費用(注3)			
事業支払寄付金	104,358,514	-	104,358,514
人件費・外注費	49,351,659	-	49,351,659
事務所管理費	4,290,329	-	4,290,859
活動費	8,228,830	-	8,228,830
その他	916,025	-	916,025
費用 計	167,145,357	-	167,145,357
当期正味財産増減額	21,725,171	41,700,932	63,426,103
前期繰越正味財産額	42,845,616	186,247,039	229,092,655
次期繰越正味財産額	64,570,787	227,947,971	292,518,758

◆貸借対照表

2018年12月31日現在 (単位：円)

科目 (資産の部)	金額	科目 (負債・正味財産の部)	金額
資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債(注6)	
現金預金	79,191,993	未払金	5,293,200
未収入金	132,540	未払費用	2,669,278
前払費用	336,640	預り金	766,712
寄付予定特定資産(注4)	227,947,971	流動負債 計	8,729,190
流動資産 計	307,609,144	固定負債	
固定資産		長期借入金	10,500,000
敷金	835,850	固定負債 計	10,500,000
出資金(注5)	3,292,000	負債の部 合計	19,229,190
長期前払費用	10,954	正味財産の部(注7)	
固定資産 計	4,138,804	指定正味財産	227,947,971
		一般正味財産	64,570,787
		正味財産の部 合計	292,518,758
資産の部 合計	311,747,948	負債・正味財産合計	311,747,948

(注1)収益のうち、使途が指定された寄付金や助成金を「指定正味財産」、その他を「一般正味財産」として管理しています。具体的には、事業を通じて受入れた寄付金の8割に相当する金額(152,325,670円)を「指定正味財産増減」の区分に記載しています。また、事業を通じて受入れた寄付金のうち、残り2割に相当する事業寄付金収益(38,081,418円)や、受取寄付金(事務局運営資金のために頂いた寄付)及び啓発事業収益(講演料、イベント収入等)については、「一般正味財産増減」の区分に記載しています。また、使途が制約された寄付金を提携機関に送金した時点で、同額を指定正味財産から一般正味財産に振り替えると同時に、事業支払寄付金として費用計上しています。

(注2)収益の各科目の詳細は以下の通りです。
「受取会費」：正会員の会費／「受取寄付金」：事務局運営のための寄付／「事業寄付金収益」 開発途上国での学校給食・農業支援活動のための寄付／「啓発事業収益」：講演料等／「その他」受取利息等の雑収益／「一般正味財産への振替額」：注1のご説明をご参照ください

(注3)費用の各科目の詳細は以下の通りです。
「事業支払寄付金」：開発途上国での学校給食・農業支援活動のために、提携機関へ送金した寄付／
「人件費・外注費」：職員給与、社会保険料、外部への業務委託費／「事務所管理費」：家賃、水道光熱費、リース料等／
「活動費」旅費交通費、会議費等／「その他」：租税公課、振込手数料等

(注4)事業を通じて受入れた寄付金のうち、提携機関に送付する寄付金は使途が制約された資産であるため、「寄付予定特定資産」として記載しています。
(注5)欧州展開のため2017年11月にドイツに設立した現地法人(gGmbH/非営利目的有限会社) TABLE FOR TWO Deutschlandへの出資金です。

(注6)流動負債の各科目の詳細は以下の通りです。
「未払金」：2019年1月に支払予定の各種費用(水道光熱費、通信費等)／「未払費用」：2019年1月に支払予定の人件費／
「預り金」：職員給与から控除し、2019年に支配予定の社会保険料・源泉税
(注7)事業を通じて受入れた寄付金については使途が制約されたものとして指定正味財産の区分に、その他については一般正味財産の区分に記載しています。

※この財務報告は、理事会ならびに総会の承認を経て東京都へ提出した財務諸表の抜粋です。

◆2018年度事業概要および来期への展望

第12期の決算となった今期（2018年）は、前年に続き収益合計額が2億円を超え、日本国内での参加団体数は計720団体、1年間の参加人数はのべ約1,100万人となりました。

今期で4年目を迎えた「おにぎりアクション」の協賛金額（5,500万円）は前年比2倍と、大きく成長しました。大手自動車会社や食品メーカーとの連携が新たに始まり、オンラインだけでなく、全国各地で店頭でのタイアップイベント実施につながりました。おにぎりアクションの広がりに伴い、一般消費者からの関心は年々高まっており、マンスリーサポーターも前年から約100名増となりました。

基幹事業である社員食堂プログラムやスポーツを通じた「カロリーオフセット」は前年並みで推移しています。SDGsへの関心が高まり、企業・学校からの参加申し込みや問い合わせも増えており、来期は着実に基幹事業の拡大につなげていきたいと考えています。

開発途上国支援活動では、継続的なプログラムからの収益が増えたことに伴い、ケニアでの支援学校数を増やしました。また、現地での給食や食糧生産をより持続可能にするための取り組みも行なっています。給食支援・農業支援に加え、学校や地元農家に対して、食材の保管容器の提供や、保管方法の指導を始めました。現地で持続可能な自給自足のサイクルが回るよう、支援の幅を広げてまいります。

◆寄付金送金先一覧（2018年1月～12月31日 単位：円）

提携機関	送金金額
Kageno Worldwide（ルワンダ、ケニア）	30,402,664
Ministry of Education and Vocational Training Zanzibar（タンザニア/ザンジバル島）	30,143,468
国連WFP本部（ウガンダ）	28,707,500
Slow Food Foundation（エチオピア、ケニア、ウガンダ、マラウィ 農業プロジェクト）	7,015,610
Imperial Collage（タンザニア）	4,686,000
ACTION（フィリピン）	2,419,848
国連WFP協会（地域指定無し）	983,424
合計	104,358,514

◆収益と費用

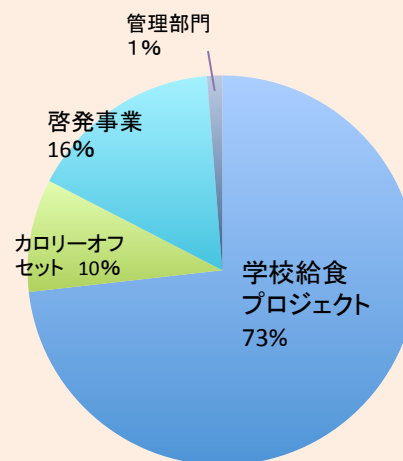
今期は一般正味財産の収益合計が188,870千円、費用合計は167,145千円となり、差引合計で21,725千円の黒字となりました。一般正味財産の残高は、前年度の繰越とあわせ、64,570千円となりました。

収益の内訳は、給食事業からの寄付金収益が190,407千円（前年から29,727千円の減額※）となりました。イベント・講演（啓発事業）収益は37,249千円（25,330千円増）となりましたが、増額分はおにぎりアクションのイベント実施に伴う収入です。事務局運営のための協賛金（受取寄付金）は2,822千円でした。

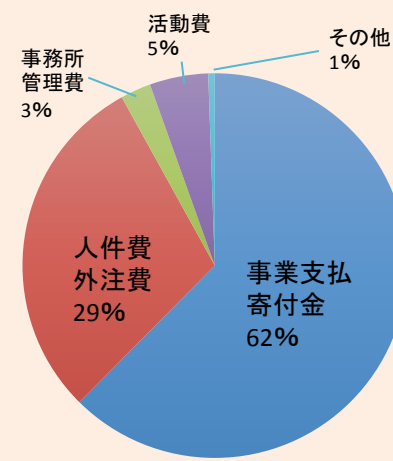
費用については、給食事業の支援先送金分（支払寄付金）として104,358千円（7,785千円増）を支出しました。各提携機関への具体的な送金額は、左表をご参照ください。その他の費用は、合計62,787千円でした。

※減額したのは、2017年度に前期入金予定だった寄付の期ずれ入金があった分と、単一年度限定だった寄付金分です

事業別計上収益(%)



費用別内訳(%)



1 団体概要まとめ

【正式名称】	特定非営利活動法人TABLE FOR TWO International
【設立】	2007年10月24日
【種別】	租税特別措置法第六十六条の十一の二第三項に規定する認定NPO法人（2015.1.14認定）
【WEBサイト】	http://jp.tablefor2.org/
【代表理事】	小暮 真久 安東 迪子
【理事】	黒松 敦- 株式会社ミテリ・アソシエイツ 代表取締役 古森 剛- 株式会社CORESCO 代表取締役 / 一般社団法人はなそう基金 代表理事 / マーサージャパン株式会社 シニアフェロー 佐藤 俊司- TMI総合法律事務所 パートナー 弁理士 牧 辰人- SCS-Invictus パートナー 公認会計士
【監事】	渡辺 伸行 - TMI総合法律事務所 パートナー 弁護士
【決算期】	12月31日
【活動内容】	先進国でのヘルシーメニュー提供や啓発活動等のプログラム実施によって得た寄付を通じての開発途上国への学校給食支援を中核に、開発途上国の飢餓と先進国の肥満や生活習慣病の解消に同時に取り組む、日本発の社会貢献運動
【支援国】	ウガンダ共和国、エチオピア連邦民主共和国、ケニア共和国、タンザニア連合共和国、マラウィ共和国、ルワンダ共和国、フィリピン共和国
【実施団体数】	800社・団体（日本国内外・2018年12月31日時点）
【実施形態】	1. 社員食堂プログラム 2. 外食産業・食品小売実店舗プログラム 3. 喫茶・ドリンクメニュープログラム 4. その他食品関連プログラム 5. カロリーオフセットプログラム 6. 食の不均衡改善啓発プログラム 7. 個人サポータープログラム